

第6章

地区地域福祉活動計画



1. 33地区の地域福祉活動計画

第3章第3節で整理されたとおり、福祉推進協議会が実践すべき活動として取りまとめられた33地区の活動計画について、各地区1ページずつにまとめたものを以下に掲載します。

地 区	頁	地 区	頁	地 区	頁
宮	108	白 南 風	119	中 里 皆 瀬	130
三 川 内	109	小 佐 世 保	120	大 野	131
針 尾	110	戸 尾	121	柚 木	132
江 上	111	光 園	122	相 浦	133
広 田	112	山 手	123	黒 島	134
早 岐	113	清 水	124	吉 井	135
日 宇	114	大 久 保	125	世 知 原	136
天 神	115	金 比 良	126	小 佐 々	137
福 石	116	春 日	127	宇 久	138
木 風	117	赤 崎	128	江 迎	139
潮 見	118	九 十 九	129	鹿 町	140



《注》 p108～p140の各ページ内の【33地区の状況】の枠内の数値は、平成25年8月1日現在の数値です。

宮地区

地域全体で支え合うまち宮

1. 宮地区の特徴

～未来に美しい自然を子や孫に やさしく支え合うまち～

宮地区は「歴史の宝庫」と言われ、その歴史は縄文時代まで遡ることができ、今の平原遺跡や弥太郎遺跡のあたりでは狩りや魚捕りの生活が営まれていました。弥生時代には、堀戸川と宮村川の合流地点の肥沃な平地に住んで稲作をしながら、波静かな大村湾の豊富な魚介類を捕って生活していたと思われまます。また、太古の屋敷跡やテボ神古墳、鬼塚古墳などの遺跡のほか、宮村五輪塔や宇都宮大明神など、歴史を象徴する建物も数多く残っています。

江戸時代に創業された有形文化財「梅ヶ枝酒造」や、大戦末期に宮村国民学校の児童が岩を掘りぬいてつくった防空壕「無窮洞」には、たくさんの観光客が訪れています。

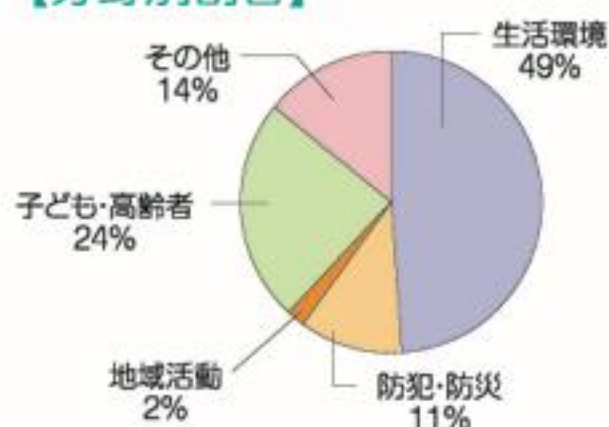
同地区は、昭和33年8月1日に佐世保市と合併し、平成20年で合併50周年を迎えました。

【宮地区の状況】

- ①人口 3,164人 ②世帯数 1,217世帯
③高齢化率 32.7% ④自治会(町内会等)数 9

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

自然と共に支え合う住みよい ふるさと宮

- ペットは最後まで責任を持って飼いましょう。
- 子どもと大人が環境について一緒に考える時間を持ちましょう。
- 町内で清掃や草刈りを徹底し、ごみを捨てにくい環境をつくりましょう。

安全・安心・明るい ふるさと宮

- 少し早めに家を出てスピードを出さなくていいようにしましょう。
- 小中学生の登下校時の見守りなど“地域お助け隊”の活動を充実させましょう。
- 身近な避難場所(公民館など)を決めておきましょう。

つながりふれ合う伝統の ふるさと宮

- 役員だけでなく一人ひとりが「お互いさま」の気持ちで協力しましょう。
- 日頃のご近所のコミュニケーションを通して協力しましょう。

助け合い支え合う ふるさと宮

- 高齢者と子どもがふれあう機会をつくりましょう。
- 今ある公園を地域で整備・管理して利用を呼びかけましょう。
- 買い物を配達するなどの助け合いサービスを考えてみましょう。

(平成20年1月策定)

三川内地区

みんなで作ろう 元気な三川内

1. 三川内地区の特徴

三川内地区は、佐世保市の東部にあって東は波佐見町、北は佐賀県有田町に隣接し、北西の隠居岳の山裾にいだかれ、小高い山々に囲まれた平地を小森川が蛇行して流れる豊かな田園地帯です。

国道の南側には古い窯跡が残り、約400年も続く伝統工芸である三川内焼の窯元が日用品や高級陶磁器を作り続けています。また、国道の西側は棚田が広がる農村地帯であり、農業と窯業が主体の地域です。農地も基盤整備により大型機械による耕作が可能になり、米の他にアスパラ・ナス・レタスなどの野菜の栽培も盛んです。

交通の面では、西九州自動車道三川内インターの開設により、佐世保の東の玄関口となっています。

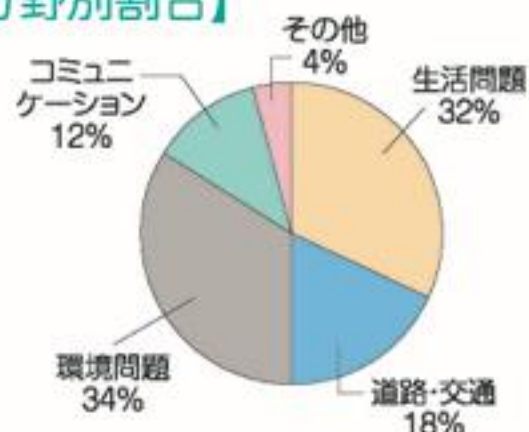
また、昭和44年に完成した下の原ダムは、東部地区唯一の上水道ダムとして、市民に水を送り続けています。

【三川内地区の状況】

- ①人口 4,101人 ②世帯数 1,522世帯
③高齢化率 35.1% ④自治会(町内会等)数 19

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

いつまでも住み続けられる 三川内

- 高齢者には手助けをしてあげましょう。
- タクシーを相乗りして買い物に行きましょう。

交通ルールを守る安全なまち 三川内

- 狭い道は一人ひとりが注意して通しましょう。
- スピードの出しすぎに気をつけましょう。

水と緑 自然豊かな三川内

- 地域でのボランティア活動を盛んにしましょう。
- 生活排水の流し方を考えましょう。
- ペットのふんは飼い主が責任をもって片付けましょう。
- 小森川を守る会をつくり、守り育てていきましょう。

笑顔であいさつ 明るい三川内

- 農業や窯業が活性化するよう工夫しましょう。
- 地域のお祭りなどの行事には、呼びかけ合ってすすんで参加しましょう。

(平成20年3月策定)

針尾地区

よかまち 針尾

～みんなで築こう 恵まれた自然～

1. 針尾地区の特徴

針尾地区は、北側に佐世保港、西側はその玄関である高後崎の正面に位置し、南側は西彼半島・大村湾に囲まれた、南北約10km、東西約6kmの針尾島西側の地域です。

自然が豊かで、中でも大村湾の干満で生じる渦潮は、日本三大急潮の一つに数えられています。

また、儒学者の楠本端山・碩水の学び舎や墓、太平洋戦争で使われた無線塔、戦争終結後、戦地から引揚者が到着した浦頭港などの歴史的遺産も数多く残っています。

農業や漁業も盛んで、西海みかんは全国的にも有名になっており、魚介類の養殖なども盛んです。

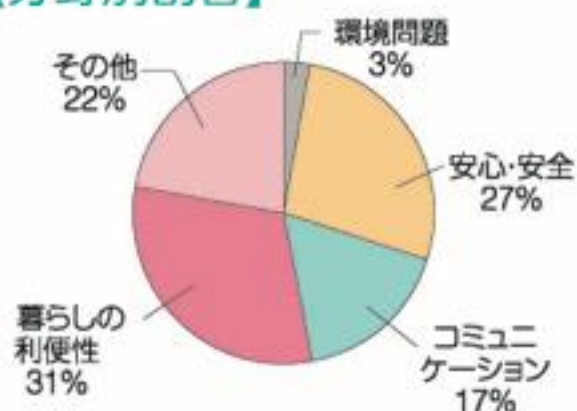
西海橋の渦潮を見物に来られる観光客も多く、沿道の食べ物店が四季折々の魚産品などを使った料理を提供したりして、地元の良さを活かした観光地づくりに取り組んでいます。

【針尾地区の状況】

- ①人口 2,671人 ②世帯数 817世帯
③高齢化率 32.9% ④自治会(町内会等)数 21

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

マナーを守って クリーンなまち針尾

- 一人ひとりがごみを捨てないように心がけましょう。
- 地域の清掃活動に積極的に参加して、環境美化に努めましょう。
- 自分のごみは責任を持って、きちんと分別して出しましょう。

目配り 気配り みんなで助け合う 安全安心のまち針尾

- 各家庭の外灯をつけましょう。
- できるだけ一人で登下校しないようにしましょう。
- 近所での声かけなど、簡単にできることを呼びかけましょう。

声掛けと思いやりの心で 住みよいまち針尾

- 地域みんなが、声かけや見守りなどをするように心がけ、助け合いましょう。
- 一人ひとりが町内会の活動に協力しましょう。
- 各家庭で話し合っ、地域の行事に興味を持ちましょう。

自然を生かし 子どもを育むまち針尾

- 子どもも公園の草むしりを手伝いましょう。
- 小中学校の体育館や地区公民館を活用しましょう。

(平成21年3月策定)

江上地区

えがおいっぱい がんばろう みんなでつくろう よかところ江上

1. 江上地区の特徴

江上地区は針尾島の東部に位置します。江上町や有福町からは、縄文時代の鏃(やじり)などが出土しており、江上には遠い原始時代から人が住んでいたことを物語っています。また、大和古墳時代のものと思われる松ヶ崎古墳からは直刀が発見され、当時有力な豪族がいたものと考えられます。

約300年前は海だった今の指方新田は、小値賀の小田伝次兵衛によって開かれ、その名前を取って小田新田とも呼ばれています。また、赤子新田(現ハウステンボス)は、戦争中は針尾海兵団、戦後は引揚援護局、陸上自衛隊駐屯地として使われ、その後は工業団地用地となり荒れ果てていましたが、平成4年に日本最大のテーマパークハウステンボスが建設されました。

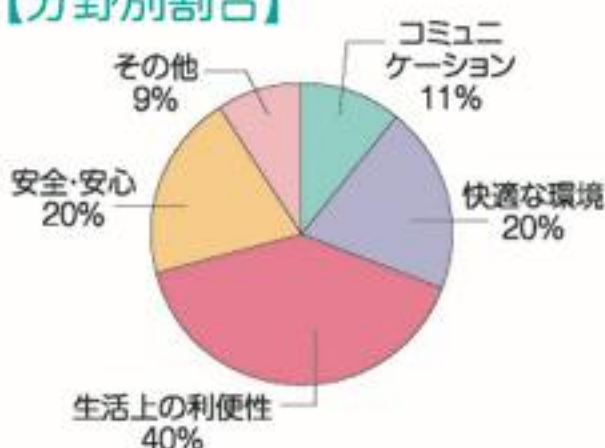
昭和30年に佐世保市に編入して以来、人口も増えて次々と団地ができ、静かな田園のまちも、近年急速に都市化しつつあります。

【江上地区の状況】

- ①人口 6,988人 ②世帯数 2,779世帯
③高齢化率 22.1% ④自治会(町内会等)数 31

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

安全・安心と思いやりのまち 江上

- 歩行者も運転者も協力してマナー向上を心がけましょう。
- 歩きながら子どもに声かけ、注意を促しましょう。

地域の輪 明るい未来を築こう 江上

- 一つひとつの行事について参加や協力の方法を考えてみましょう。
- 住民同士の助け合いで訪問や声かけをしましょう。
- たくさんの方が行事に参加するようにアイデアを出し合いましょう。

マナーを守って 自然豊かな 住みよい江上

- 集会の時にゴミの出し方の悪さを報告して話し合しましょう。
- マナーアップの標語(看板)をたくさん立てましょう。

声かけ気配りで 共に助け合うまち 江上

- 隣近所で声をかけ合い、車やタクシーと一緒に出かけましょう。
- 公園を利用するときは、お互いに譲り合いましょう。

(平成21年3月策定)

広田地区

未来へつなぐ大きな和

1. 広田地区の特徴

広田地区は、佐世保市の南東部に位置し、北は早岐地区、西は江上地区、南は宮地区、東は三川内地区と波佐見町の一部に隣接し、北部は小森川、西部は早岐瀬戸、南部・東部は一連の山系に囲まれた地域です。

かつては、田植え時期になると白サギが群れ遊び、秋には黄金色の稲穂が揺らぐ純農村地区でした。時代が進み、昭和53年からの東部地区区画整理事業開発により、金田川・浦川内川の大改修、幹線道路の建設が行われ、現在の広田3丁目・4丁目の整然とした街並みが姿を現しました。

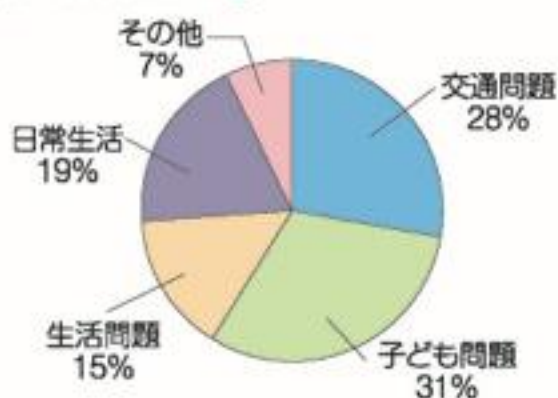
その後も、学校などの教育施設や地区公民館などの施設が次々と整備され、昔は農村地帯だった広田地区も、今では市内で最も発展著しい地区となっています。

【広田地区の状況】

- ①人口 12,456人
- ②世帯数 4,822世帯
- ③高齢化率 12.2%
- ④自治会(町内会等)数 15

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

ルールを守って明るい笑顔

- 一人ひとりが交通ルールやマナーを守りましょう。
- 目立つ看板や子どもの目線でもわかる注意の看板をつけましょう。
- 車の窓に駐車禁止のシールを貼るなどの対策を考えてみましょう。

明るく元気な広田っ子

- 親子の会話を大切にしましょう。
- 学校と連携して子どもの教育について考えましょう。
- 地域見守りパトロール隊をつくり、腕章や帽子などで目立つようにして巡回しましょう。

みんなで声かけ助け合い

- 車に乗り合うなど、お互いに協力しましょう。
- 乗合バス(コミュニティバス)の運行を検討してみましょう。

みんなの力が広田を救う

- お互いがあいさつを交わすように心がけましょう。
- 町内の会合などに参加してもらう方法を考えましょう。
- ごみのポイ捨てに気づいたら拾うように心がけましょう。

(平成20年3月策定)

早岐地区

がんばろうで早岐

～みんなの力で 住みよいまちに～

1. 早岐地区の特徴

早岐地区は、佐世保市の南東部に位置しています。「早岐」という地名は、奈良時代に書かれた『肥前國風土記』に「速来」として現れ、佐世保で最も古い地名です。

江戸時代には、平戸藩の商業の中心地として繁栄しました。平戸往還の宿場でもあったため、一般の人たちが宿泊する旅籠(旅館)、平戸藩主が泊まる本陣、重臣たちのための脇本陣もありました。港からは、瀬戸内や関西方面への船が出て三川内焼などが運ばれていたようです。

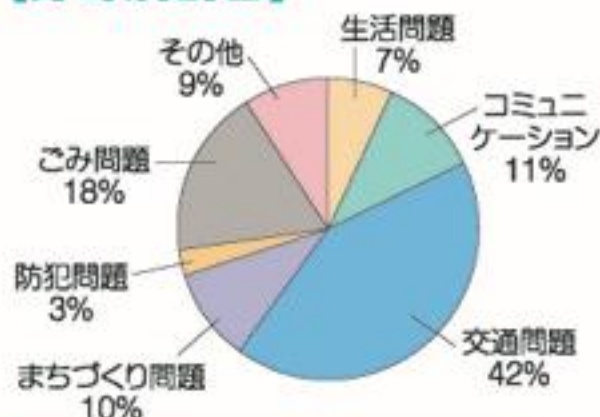
また、大念寺の山門や平戸往還の石畳などの遺跡も数多く残っています。中でも早岐駅の駅舎は、明治30年の開業当時のままのもので、明治時代の駅舎建築としては長崎県内に唯一残る貴重な建物です。

【早岐地区の状況】

- ①人口 21,603人 ②世帯数 8,670世帯
③高齢化率 25.5% ④自治会(町内会等)数 53

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

ふれあい・交流の場を大切にする早岐！

- 子どもの遊び場として活用できる空き地や田畑がないか調べましょう。
- 空き店舗を利用して図書館など交流の場をつくりましょう。

つながりを深めあう早岐！

- 近所で誘い合って行事に参加するようにしましょう。
- 町内会報の発行など地域の身近な情報を発信しましょう。

交通マナーがひかる早岐！

- 一人ひとりが交通ルールを再確認しましょう。
- 自家用車の利用を控え、自転車や公共交通機関を利用するよう呼びかけましょう。

活気にあふれる早岐！

- 商工振興会やまちづくり協議会など地域の組織が連携しましょう。

地域みんなで防犯・防災に取り組む早岐！

- 住民同士で防犯・防災のための地域ネットワークをつくりましょう。
- 防犯灯の必要な場所や今ある設備について調べましょう。

みんながルールを守る、きれいなまち、早岐！

- 一人ひとりがごみ出しのマナーを守りましょう。
- のら猫に勝手にえさをあたえないように呼びかけましょう。(平成19年3月策定)

日宇地区

育てよう未来へつなぐまちづくり

1. 日宇地区の特徴

日宇地区は佐世保市の中南部に位置し、市街地への通勤者などが暮らすベッドタウン的な地域として発展しました。地区内には小学校が3校、中学校、高等学校、高等専門学校が1校ずつあり、さながら学園都市のようです。

その昔、日宇湾は日宇川に沿って猫山ダムあたりまで入り込んでいて、潮の干満によってできる見事な景観を見た人々が、「干海（ひうみ）」と呼んだことが「日宇」の語源とされています。

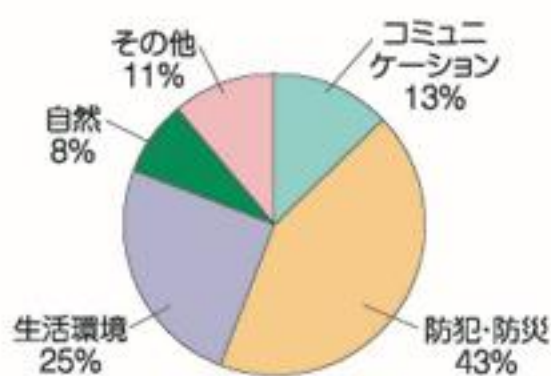
黒髪小学校の北部に「入船屋敷」、「干渡」、「渡瀬」などの地名が残っていることから、海水が今の黒髪神社の真下あたりまで入ってきていたことが確認づけられます。

【日宇地区の状況】

- ①人口 26,122人 ②世帯数 10,707世帯
③高齢化率 28.2% ④自治会(町内会等)数 28

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

声かけあって助けあうまち

- 助け合いの心を持ち、普段から近所の人声がかけましょう。
- 子どもは親がしっかりしつけ、できるだけ多く会話をするようにしましょう。

ルールを守る安全なまち

- 地域で防災・安全マップづくりをしてみましょう。
- 登下校にはなるべく危険な場所を通らないようにしましょう。
- 一人ひとりが交通ルールを守り、車には気をつける意識を高めましょう。

清潔で安心なまち

- まめに草刈りやごみステーションの整理をしてごみを捨てにくくしましょう。
- ごみに猫が集まらないように、処理をきちんとしましょう。

森や川のきれいなまち

- 公園やそれぞれの自宅に植物を植えるなど、緑が増えるような工夫をしましょう。
- 「日宇川水すまし会」の活動にみんなで協力しましょう。

(平成20年1月策定)

天神地区

めざそう！天神山麓パラダイス

1. 天神地区の特徴

天神地区は、天神山の南東斜面から佐世保湾に突き出した崎辺半島に続く広大な地域です。日当たりも良く海にも近いことから、遠い昔から人が住んでいて、天神洞穴前畑遺跡からは鏃（やじり）や斧、槍などの石器が出土しています。

明治以降、天神町は日宇村崎辺免、大黒町は福石免、東浜町は崎辺免東浦と呼ばれていましたが、昭和2年に佐世保市に合併し、天神町、大黒町、東浜町となりました。

戦時中は軍事上重要な地区となり、大半が軍事用地として使用され、高射砲や高射機関砲などが据え付けられていました。

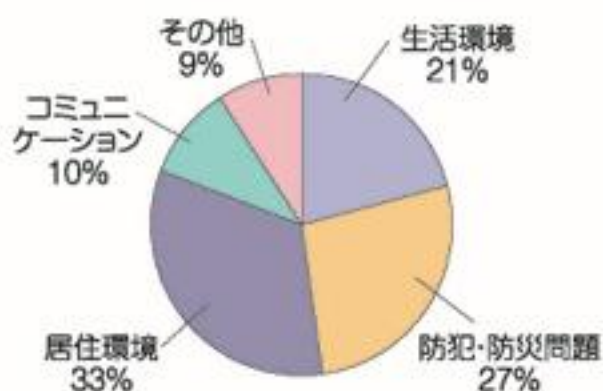
戦後、小学校や公営住宅のほか、一般住宅の建築も始まり、あれよあれよという間に一大居住地となり、現在に至っています。

【天神地区の状況】

- ①人口 14,049人 ②世帯数 5,803世帯
③高齢化率 31.9% ④自治会(町内会等)数 8

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

マナーを守ってきれいなまちに

- 自分のごみはできるだけ持ち帰り、ポイ捨てはしないよう心がけましょう。
- ペットの飼い主は責任を持ってふんを処理しましょう。
- 各家庭のごみは分別や回収日をきちんと確認して捨てましょう。

安心安全で住みよいまちづくり

- 迷惑な駐車をしないようお互いに心がけましょう。
- 危険な道路を通るときは集団登下校などして、一人では通らないようにしましょう。

みんなで声かけ助け合い

- 手すりのない坂や階段が多いので、お互いに気をつけるように声をかけ合いましょう。
- 積極的な利用を呼びかけて、バスの本数を増やすための実績をつくりましょう。

明るい笑顔で「こんにちは」

- 日頃から近所で声をかけましょう。
- トントントンカラリンと歌のように隣同士で仲良くしましょう。

(平成20年9月策定)

福石地区

福石んもんこの指と～まれ

～老いも若きもスクラム組んで～

1. 福石地区の特徴

福石地区は、天神山から佐世保港にかけての、緩やかな傾斜地と江戸時代に干拓された平地に広がる地域で、明治19年の佐世保軍港設置以後、軍港の発展とともに急激に開発されました。

この地区はかつて日宇免福石村と呼ばれていましたが、昭和2年に佐世保市に編入し、昭和13年の新町名施行により大和、大宮、東山、大黒の4町が、昭和26年には千尽、前畑町が生まれました。前畑町は大部分が米軍基地で、市内の中でも人口の少ない町の一つです。

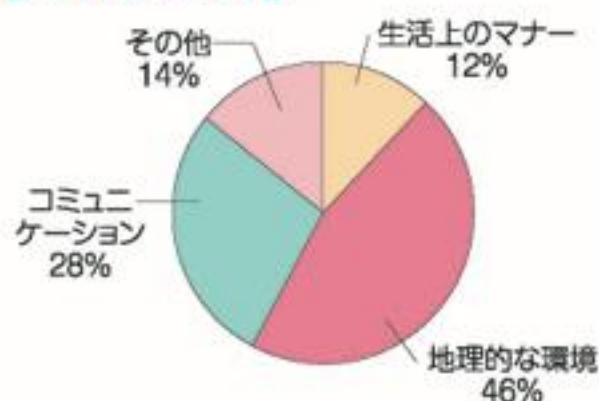
天神山の中腹からの傾斜地には人家が密集し、その一画に東山海軍墓地・東公園、福石小学校があります。交通の便も良く住みやすい環境のため、住民の定着度は高い地区ですが、坂や階段が多く、車で入れない場所も多いことから、道路整備のための協議が進められています。

【福石地区の状況】

- ①人口 4,641人 ②世帯数 2,131世帯
③高齢化率 21.6% ④自治会(町内会等)数 11

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

イヌの目 ネコの目 カラスの目 みんなの知識でよくなるマナー

- 町内一斉清掃に積極的に参加しましょう。
- ごみは持ち帰るよう心がけましょう。
- ペットのふんは必ず始末しましょう。
- 外では犬や猫にえさを与えないようにしましょう。

目配り、気配り、助け合い 安全・安心優先のまち

- 登下校時の「愛のひと声運動」を続けましょう。
- 交通指導員などの協力者による見守りを広げましょう。

思いやりの心で向こう三軒両隣

- 子どもの安全を近所の住民が気かけましょう。
- あいさつなどから始めて交流しましょう。
- 他人を思いやる心を持ちましょう。

(平成20年9月策定)

木風地区 “一番住みよい” そんな木風にしてみたい

～烏帽子の風になって～

1. 木風地区の特徴

木風地区は、福石川の流域に位置し、軍港として発展した地域で、木風町、藤原町、稲荷町からなります。

大戦中、木風町には軍艦が入港した時のための海軍宿舎が造られ、藤原町には大きな無線工場があり、女子学徒動員隊が働いていました。稲荷町には大型のサイレンが設置され、米軍機が来襲する度に、佐世保一円に大音量で警戒警報を発して市民に注意を促していました。

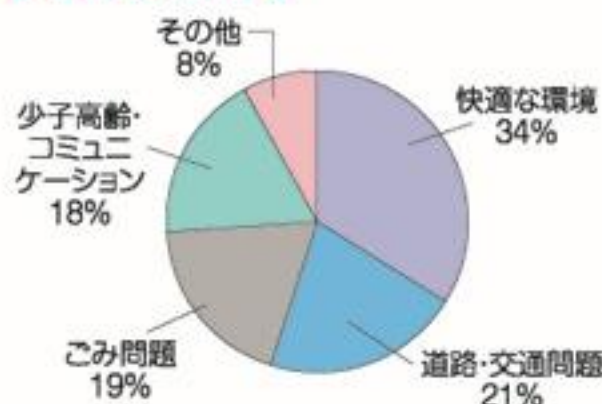
現在の木風町は、二つの重要なバイパスが走る自然豊かで閑静な住宅地となり、藤原町も、日水公園の一角を中心に最新の住宅地として開発が進んでいます。また、稲荷町には、海軍刑務所の跡地を中心に、多くの公共施設が集中しています。

【木風地区の状況】

- ①人口 5,314人 ②世帯数 2,383世帯
③高齢化率 30.2% ④自治会(町内会等)数 12

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

いつも明るく清潔な わがまち木風

- ペットの飼い主は責任を持ってふんの後始末やしつけをし、最後まで飼いましょう。
- あいさつや見守り運動などを通じて、昼間でも子どもを見守りましょう。
- みんなで花を植えましょう。

事故を少なく安心平和な わがまち木風

- 運転のマナーを守りましょう。
- 学校や地域で協力して、子どもに危険箇所を教えて注意を呼びかけましょう。
- できるだけバスを利用しましょう。

ルールを守りごみ出す仲間 木風

- みんなでごみを捨てにくい環境を保ちましょう。
- 各自で町内の美化につながるよう心がけましょう。
- 清掃週間や空き缶回収キャンペーンなどを増やして意識啓発しましょう。

子どもは宝みんなで守ろう わがまち木風

- 町民としての責任と関心を持ちましょう。
- 町内会・公民館の楽しい集会をPRしましょう。
- 隣近所のお年寄りとお声をかけ合い、見守りましょう。

(平成20年9月策定)

潮見地区 しあわせをわかちあう ふれあいのまち

～みんなでつくろう わがまちプラン～

1. 潮見地区の特徴

潮見地区は、佐世保市街地の東側に位置し、“福石観音”を中心にした福石町、潮見町、若葉町の3町からなっている地域です。

この地区は、福石観音の門前町と、海軍の施設や電力会社、銀行、郵便局、病院、商店街が軒を連ねる街として明治30年代後半から軍港と共に栄えてきました。また、中心市街に近接し、駅、港、バスなど交通の便のよい地域です。

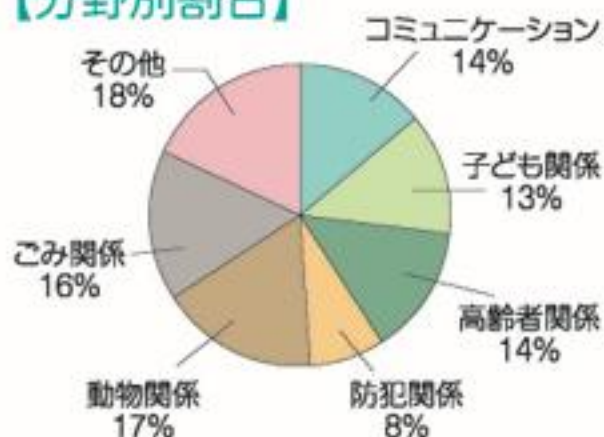
現在は、国道35号線を挟んで地域全体の市街化が進み、より住みよいまちへと発展している地域ですが、“坂のまち”ならではの様々な問題も発生しています。

【潮見地区の状況】

- ①人口 3,501人 ②世帯数 1,830世帯
③高齢化率 31.1% ④自治会(町内会等)数 8

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

地域活動への参加を呼びかけよう！

- 夏祭り、餅つきなどの誰もが楽しめるイベントを開催しましょう。

子どもの安全を守ろう！

- 地域住民が散歩を兼ねてパトロールしましょう。
- 子どもが実際に遊んでいる場所と遊び場になりそうな場所の調査をしましょう。

高齢者も安心のまちをつくろう！

- ひとり暮らしの高齢者が生活サインを出すようにしましょう。
- ふれあいネットワークの充実を図りましょう。

防犯に取り組もう！

- 防犯について住民の意見を聞く機会を設け、実現可能な意見について取り組みましょう。

ペットやのら猫にまちを汚させないようにしよう！

- ペットのふんは飼い主が処理するように徹底しましょう。

ごみはきちんと処理しよう！

- ごみ分別の立ち合いを各世帯持ち回りにしましょう。

(平成19年3月策定)

白南風地区 みんなでつくろう！よかところ白南風

1. 白南風地区の特徴

白南風地区は、佐世保市の中心部に位置し、北に烏帽子岳、西に弓張岳・将冠岳を仰ぎ、南に佐世保港を見下ろすことができる素晴らしい眺望に恵まれた地域で、三浦町・白南風町・峰坂町・須田尾町・山祇町の5町からなっています。

この地区は、国道35号線沿いの白南風町・三浦町が佐世保駅を中心として佐世保の玄関口にふさわしい発展を遂げている一方で、昔の平戸往還(街道)沿いにある峰坂・山祇・須田尾の各町には、往還にまつわる数々の言い伝えがあるほか、樹齢700年の椋木(天然記念物)を境内にもつ山祇神社があるなど、歴史を感じる地区でもあります。

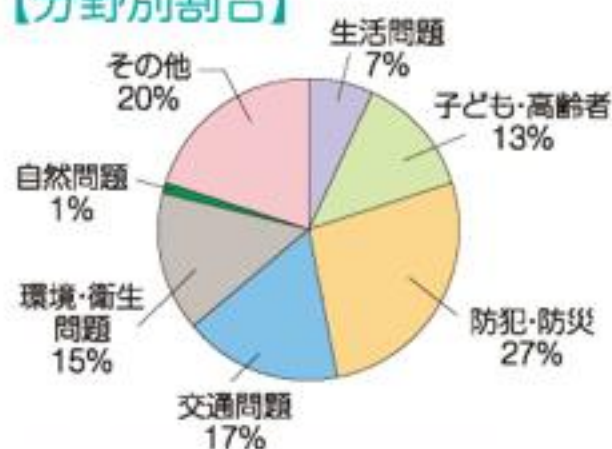
また、陸軍基地(峰坂町)、魚市場(三浦町)、県立佐世保高等女学校(三浦町)、大野ノ堤(山祇町)など、形は消えても語り継がれている施設などもあった地区です。

【白南風地区の状況】

- ①人口 6,044人 ②世帯数 2,951世帯
③高齢化率 32.9% ④自治会(町内会等)数 10

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

全員参加の地域活動

- 地域行事の際には声かけをするネットワークづくり(仲間づくり)をしましょう。

子どもや高齢者を見守り、支える地域

- 地域で子どもの居場所づくりをしましょう。
- 高齢者を見守り・支えるしくみをつくりましょう。

犯罪のない地域

- 地域住民と保護者などが協力して通学路の見回りをしましょう。
- 防犯マップの作成などをして、防犯に対する意識を高めましょう。

便利で安全な地域

- コミュニティバスについて調査してみましょう。
(運行費、利用者数、コースなど)

正しい知識でマナーを守る地域

- ペットのふんは飼い主が処理するように徹底しましょう。

緑が多い地域

- 場所に合う花や木を地域みんなで植えましょう。

(平成19年3月策定)

小佐世保地区 手をとり合って住みよいまちづくり

～みんなの力でできること～

1. 小佐世保地区の特徴

小佐世保地区は、烏帽子岳のすそ野に広がる、街も山も海も一望に見渡すことができる高台に位置します。戦前から今日まで、閑静な住宅地として着実な歩みを続けてきています。

地形的に坂道や階段が多いため、高齢者の方々にとっては大変な場合もありますが、交通の便も良く、アーケードなどの中心街にも近いため、生活しやすい地域です。

この地区は7つの町内会で構成されていますが、お互いに交流が図られており、地域住民の皆さんのご理解とご協力のおかげで、事件や事故の少ない地域となっています。

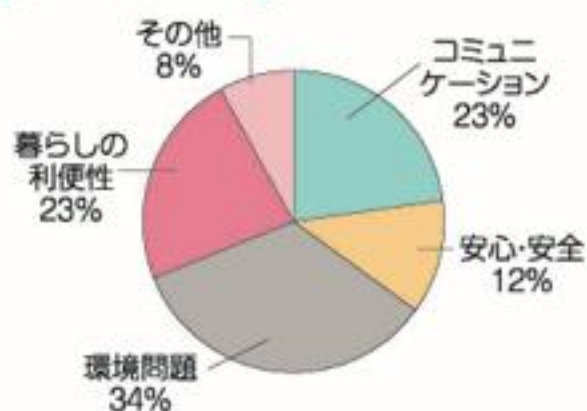
他の地区と同様に、小中学校の児童生徒数は減少傾向にあるため、将来の不安を感じることもありますが、現在の子どもたちは明るくのびのびと育っており、一声かけると素直に返事を返してくれます。

【小佐世保地区の状況】

- ①人口 5,458人 ②世帯数 2,560世帯
③高齢化率 31.6% ④自治会(町内会等)数 7

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

ボランティアのあふれるまちづくり

- お年寄りやひとり暮らしの方には、一人ひとりが気がけながら声かけをしましょう。
- 大人が子どもの手本になり、思いやりの心を育てましょう。
- 行事に誘って町内の関心を持ってもらいましょう。

あいさつではじまる安全安心のまちづくり

- みんなで防犯に努めましょう。
- 不審な行動をしている子どもには周りが気をつけて注意し合いましょう。
- 集団で登下校するように、みんなで誘い合いましょう。

マナーを守って美しいまちづくり

- ごみのポイ捨てや不法投棄をしないようポスターや回覧板で注意を呼びかけましょう。
- 地域で花いっぱい運動をしましょう。
- ペットの飼い主はマナーを厳守し、責任を持ってふんを処理しましょう。

支えあう心がつくるまちづくり

- 近所の人などがお年寄りの買い物を手伝いましょう。
- 行きつけのお店などに配達をお願いしましょう。

(平成21年3月策定)

戸尾地区

とのおの和

～戸尾から広げていこう みんなの輪～

1. 戸尾地区の特徴

戸尾地区は、市を代表する四ヶ町商店街の一角を占めている一方で、全国的にも稀少価値の高いスポットであるトンネル横丁を含む“戸尾市場”があり、商業活動の幅広さで抜きん出ています。

本来、戸尾地区とは、旧戸尾小学校の校区を指していて、「市の中心部としてのポジション」としての誇りを持った地域でした。それは、親から子へ、子から孫へと代々受け継がれてきた意識であったと思われます。

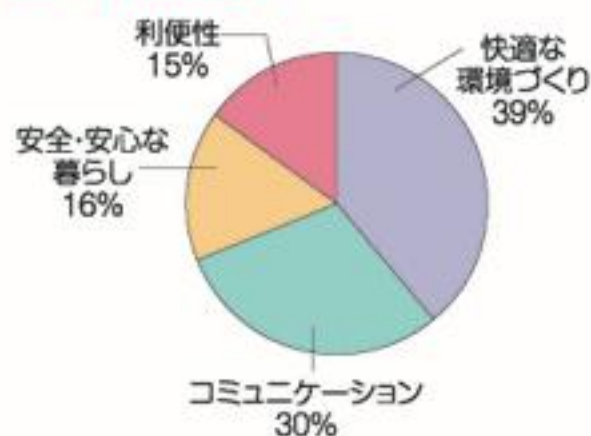
地域の象徴でもあった戸尾小学校が統合によって失われたことは残念ですが、学校の跡地はさせば市民活動交流プラザやエコプラザとして使われており、これらの建物を活用しながら、地域や世代を越えた新たなネットワークの形成を目指しています。

【戸尾地区の状況】

- ①人口 2,594人 ②世帯数 1,433世帯
③高齢化率 29.3% ④自治会(町内会等)数 12

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

がんばるぞ きれいなまちは 私から

- 一人ひとりが町内美化を心がけましょう。
- ごみ箱を撤去しましょう。
- ごみ収集日やマナーを分かりやすく書いて掲示しましょう。

ゆずり合い みんなで 力を合わせよう

- 道路に車や物を置かないように心がけましょう。
- 交通当番制を続けていきましょう。

まず一歩 かけ合う声の 響くまち

- まちの人との出会いを多くしましょう。
- 花植えや清掃活動をし、まちをきれいにしましょう。
- 近隣の町内と合同で行事をしましょう。

(平成21年3月策定)

光園地区

ひかりかがやく 明るいまち 光園

1. 光園地区の特徴

光園地区は、佐世保市の中心部に位置する市内最大の商業地区で、初売りで全国的に有名な三ヶ町・四ヶ町商店街、玉屋があります。また、市立図書館や体育文化館、コミュニティセンターなどの公共施設のほか、共済病院などの病院やビジネスホテルなども多数あります。

この地区では、ドーナツ化現象が加速し、過疎化や少子高齢化も顕著になりました。現在では、長期居住者が減少し、マンションや賃貸住宅などの短期居住者が増加したことに伴って、老人会や児童会などの地域活動が有効にできないという状況も生じています。

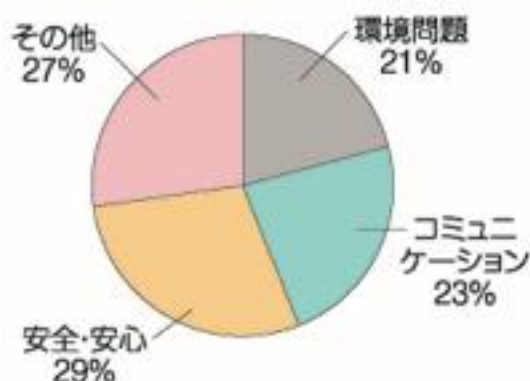
また、交通事故や大気汚染、ごみの増加など住民にとって頭の痛い問題もありますが、町内連合会をはじめとする地域の団体が協力して、これらの問題を解決するために日々活動しています。

【光園地区の状況】

- ①人口 4,808人 ②世帯数 2,568世帯
③高齢化率 21.7% ④自治会(町内会等)数 15

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

清潔で明るいまちづくり

- 自分のごみには責任を持ち、一人ひとりが気をつけましょう。
- ごみの分別、ごみ出し日のマナーを守りましょう。
- 小さなごみでも、各自で持ち帰るよう心がけましょう。

あいさつでやさしさあふれるまちづくり

- ひとり暮らし同士でお互いに声をかけ合いましょう。
- 近所の住民が声かけをし、協力して見守りましょう。
- 日頃の近所付き合いが消極的な人への声かけを増やしましょう。

声かけ合ってみんなで守るまちづくり

- 不審者を見かけたら、すぐに警察に連絡するようにしましょう。
- 各家庭で夕暮れ時から外灯・門灯などをつけるようにしましょう。
- 夜間人通りの少ないところは通らないようにしましょう。
- 地域の方に散歩時などに「たすき」や「ジャンパー」を身につけてもらうようにしましょう。

(平成21年1月策定)

山手地区

心ふれあう 山手地区

～人にやさしく みんなで楽しく～

1. 山手地区の特徴

山手地区は、佐世保市のシンボルとして市歌や校歌に折り込まれてきた烏帽子岳の頂上付近から南側のふもとにかけて広がる8町で構成されています。文明が川と共に発展したように、山手地区も烏帽子の豊かな水源と共に時代を歩んできました。

明治19年に佐世保に軍港が設置されると、山手地区は住宅地、商業地、娯楽地として繁栄しました。戦後、名切通り沿いの土地は米軍の住宅地として接収されていましたが、返還された現在では、市民会館、武道館、ふれあいセンターなどが設けられ、福祉・文化・スポーツの拠点となり、市民の憩いの場にもなっています。

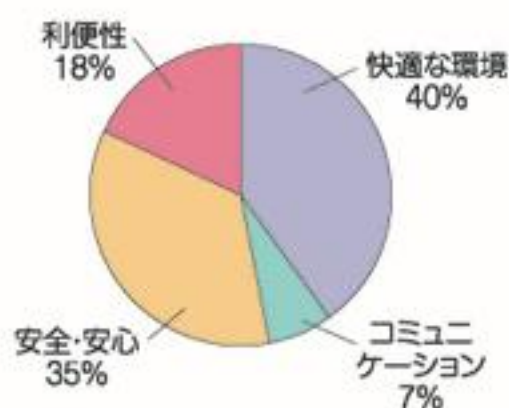
また、烏帽子岳の山頂付近には、100年の森構想実行委員会の方々や市民の手によって苗木が植樹され、温暖化防止の一環を担っています。

【山手地区の状況】

- ①人口 5,942人 ②世帯数 2,499世帯
③高齢化率 31.5% ④自治会(町内会等)数 13

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

マナーアップで住みよい暮らし

- 分別方法をごみステーションに掲示し、意識の向上を図りましょう。
- ペットの飼い主は責任を持ってふんの処理をしましょう。
- ごみを捨てないよう一人ひとりが心がけましょう。

たすきでつなく 世代愛

- 危険箇所をチェックし、安全意識を高めましょう。
- 家庭で交通ルールについて話をするようにしましょう。

安全なまちづくり

- 階段、坂道、危険な場所を調査しましょう。
- 坂道や階段を歩くことは健康のための運動と考えましょう。

あいさつ 声かけ わがまち山手

- 積極的な声かけをして、町内会への加入を勧めましょう。
- 「あいさつ」は自分からやるようにしましょう。

(平成21年3月策定)

清水地区

誰もが住みやすく共に生きるまち

～清く明るい地域をめざして～

1. 清水地区の特徴

清水地区は、佐世保市のほぼ中心部に位置し、地区の中央には佐世保川が流れています。戦国時代には、この川を挟んで鼻繰城と佐世保城が築かれていました。江戸時代になると平戸往還が整備されるとともに、一里塚や松並木が整えられ、当時の佐世保村の中心地であった八幡町付近には、郡代役所や庄屋が置かれました。

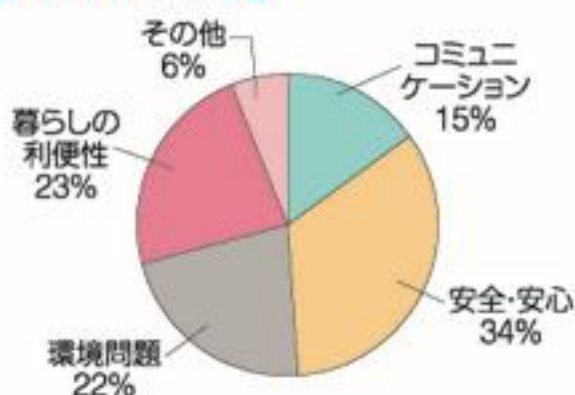
明治22年に佐世保海軍鎮守府が開庁すると、佐世保にも多くの人々が住むようになり、川沿いや山の手新しい住宅地が次々とできました。また、明治35年に市制が施行され、市役所が建設されると、周辺には道路や町並が整備され、住宅や商店街もできて、若者や子どもも溢れました。以後60有余年が経った現在でも、落ち着いた風土と人のふれあいを大切にする地域です。

【清水地区の状況】

- ①人口 6,693人 ②世帯数 3,101世帯
③高齢化率 32.1% ④自治会(町内会等)数 16

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

共に生きる元気なまち

- ひとり暮らしの高齢者には町民の皆さんで声をかけ合い見守りましょう。
- 町内の行事には隣近所で誘い合って参加しましょう。

ふれあいのある明るいまち

- 子どもの登下校時の見守りを今後も続けましょう。
- 夜道が暗いので道端の家々に灯りをつけてもらうようにしましょう。
- 空き地や空き家は近所の人で気がけるようにし、異変に気づいたら関係者に連絡しましょう。

協力しあうきれいなまち

- ごみのポイ捨てや不法投棄について町内や班会議で話題にしましょう。
- のら犬やのら猫のえさになるごみや食べ物を不用意に出さないようにしましょう。

人にやさしい住みよいまち

- 坂道や階段には手すりをつけるなど高齢者の安全対策を考えましょう。
- 駐車場が少ないため、空き地などの利用について相談してみましょう。

(平成21年1月策定)

大久保地区

すいっと大久保

～みんなで作ろう安全・安心住みよいまち～

1. 大久保地区の特徴

大久保地区は、弓張岳の麓から佐世保川河畔にかけて開けた地域で、新旧の幹線道路や観光道路が走り、地区内には保健所・警察署・法務局などの官公庁や銀行・大型スーパーなどの施設があります。隣接地には市役所・市立総合病院・消防署もあり、市の中心部にも近いため、生活するうえでは大変便利な地区と言えます。

明治22年に佐世保海軍鎮守府が開庁すると、海軍関連の産業が盛んになり、地区の人口も増加しました。また、大正12年には、当時西日本随一とも呼ばれた、モダンなコンクリート造りの大久保小学校が建てられるなど、教育文化の中心地としての歴史もあります。

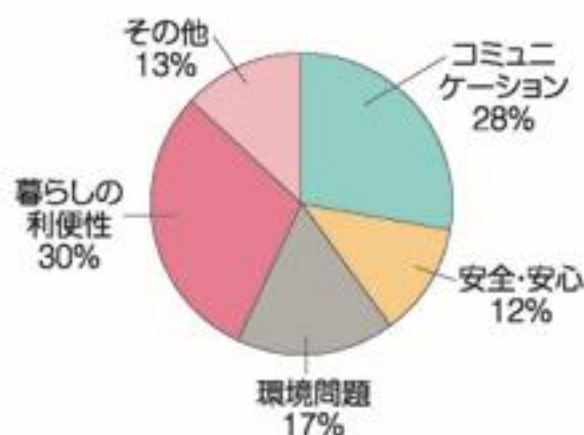
地区住民には事ある時には進んで協力する気風があり、小学校教育には特に熱心です。

【大久保地区の状況】

- ①人口 3,366人 ②世帯数 1,664世帯
③高齢化率 28.9% ④自治会(町内会等)数 19

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

笑顔とあいさつのおふれるまち

- ご近所同士お互いにあいさつをするように努力しましょう。
- 行事やイベントなどには積極的に参加して交流を深めましょう。

安心・安全で明るいまち

- 道路や階段の整備ができていない場所があったら連絡しましょう。
- 町内の暗い所には年に1ヶ所ずつでも防犯灯を増設していきましょう。

おとしよりにやさしいまち

- 荷物を持っているお年寄りがいたら手助けをしましょう。
- バスの本数が少ないので、タクシーを乗り合いで利用しましょう。

マナーを守ってきれいなまち

- みんなの協力と呼びかけで、ごみ出しのルールを守るようにしましょう。
- ペットと散歩の時はふんを入れる袋を持参し責任を持って処理しましょう。

(平成21年2月策定)

金比良地区

笑顔がつなぐすみよか金比良

1. 金比良地区の特徴

金比良地区は、佐世保市街地の西側に位置し、矢岳町・今福町・金比良町・御船町・鵜渡越町・神島町・平瀬町からなっています。

かつて「西部商栄会(商店の連合会)」があった頃は、地域内に食料品店や日用品店、書店のほか、銀行、病院などあらゆる店や機能が揃っており、映画館や芝居小屋もあって活気がありました。

しかし、年々人口の減少や少子高齢化が進んでおり、また、斜面地であるために道路が狭く緊急車両の通行が困難であるという課題もあります。

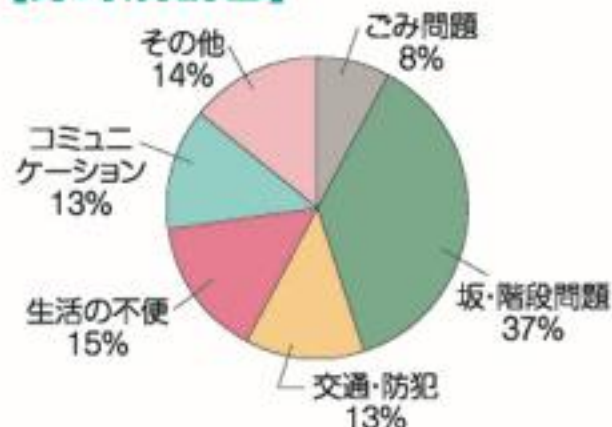
このため、平成13年からは、「若者の住み続けられるまちづくり」に向けた、『矢岳・今福・金比良地区まちづくり協議会』の活動も行われています。

【金比良地区の状況】

- ①人口 7,570人
- ②世帯数 2,074世帯
- ③高齢化率 20.7%
- ④自治会(町内会等)数 14

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

いつもきれいで楽しいまち

- ごみに気づいたら拾って所定の場所に捨てましょう。
- 学校で子どもたちに「ふるさとをきれいにしよう」と教えましょう。

お互いに助け合うまち

- 人のつながりを大切にし、ちょっとした声かけをしながら助け合いましょう。
- 広い道路と駐車スペースのあるまちづくりの話し合いを続けましょう。

安全で安心なまち

- 子どもやお年寄りを見かけたら後ろから見守りながら歩きましょう。
- 子どもが危ない場所で遊ばないように大人が注意しましょう。

明るく安心して暮らせるまち

- お年寄りの買い物には近所の人協力しましょう。
- 道路の緑地帯などに、「いこいの広場」のような場所をつくるように検討しましょう。

子どもとお年寄りを大事にするまち

- 地域みんなが見て見ぬふりをしないようにしましょう。
- 行事には誘い合って積極的に参加しましょう。

(平成20年1月策定)

春日地区

住みよい未来を残すまち

～春日地区・自然の恵みと人の愛～

1. 春日地区の特徴

春日地区は、佐世保市街地の北側に位置しています。その歴史は古く、「堺木」という地名は奈良時代の「風土記」に登場し、また、鎌倉、室町時代の「大村覚書」という古書には、領土の境として「山中観音堂」が示されています。

この地区は、明治35年の佐世保市制施行時には合併せず、昭和2年に合併するまでは東彼杵郡の飛地「東彼杵郡佐世村」となっていました。現在の横尾・春日・桜木・赤木は、昭和13年になってできた町名です。

この地区には、明治41年につくられた佐世保市初のダム式の「山の田水源地」があります。

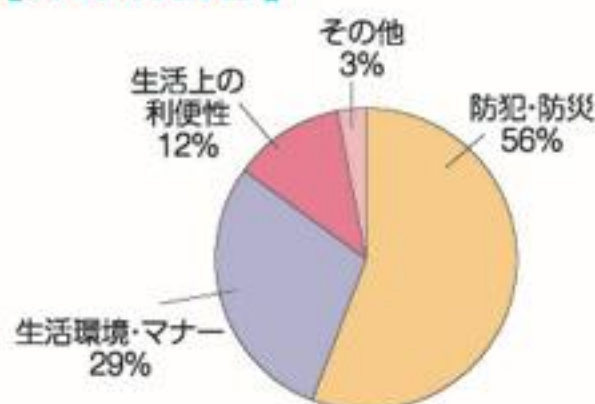
また、戦後の昭和21年に現在の天心寮の前身である「慈海寮」という戦災孤児収容施設が開設したことも特記すべきことです。

【春日地区の状況】

- ①人口 6,317人 ②世帯数 2,796世帯
③高齢化率 33.7% ④自治会(町内会等)数 8

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

声かけあってみんなで守る 春日地区

- 登下校の交通当番を少しでも多くの人に協力してもらいましょう。
- 高齢者や障がい者などの要援護者を支えるシステムをつくりましょう。
- 住民みんなで子どもを見守る活動を広げていきましょう。

一人ひとりが気をつけて きれいな心でまちづくり

- 町内活動に住民みんなが関心を持ちましょう。
- 日常生活の中で無理なくごみを拾う活動をしましょう。
- 近所の人で声かけを行い、みんなで助け合いましょう。

工夫して 不便さなくし 住みよいまち

- 坂道や階段が多いので、地域の人みんなで支え合いましょう。
- 近所の人や高齢者同士で助け合いましょう。
(買い物をする時に声をかけ合うなど)

(平成20年12月策定)

赤崎地区

明るく 住みよい 心のまち

～山あり 海あり 向こう三軒両隣～

1. 赤崎地区の特徴

赤崎地区は、佐世保市の市街地から北側に位置し、赤崎町・小島町・鹿子前町からなっています。赤崎町は、市街地までの交通を市営船に頼る不便なところでしたが、昭和13年の一部市営バス運行や、SSKバイパス線開通などを経て、市街地への利便性がよくなりました。

小島町は、戦前から海軍工廠で働く人たちが定住し、海軍工廠教習所の宿舎もありました。兵士はこの地から戦場へ出征していたため、公民館の敷地には小島明神様や青年団倶楽部の石碑があります。

鹿子前町には、戦時中、鉄道線路が引かれ、貯木が運搬されていました。市街地までの交通は、昭和31年に完成した石岳～鹿子前の観光道路や、昭和56年の新鹿子前トンネルの開通により便利になりました。

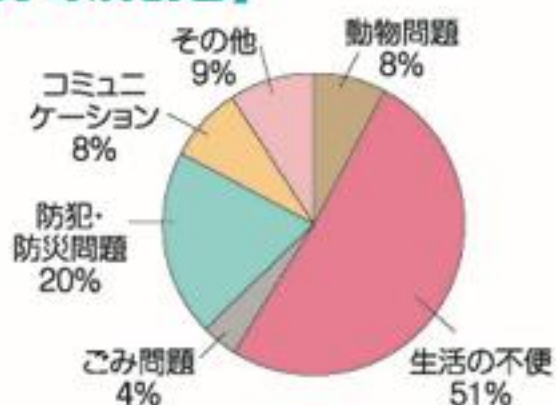
今では、西海パールシーや九十九島の展望所に多くの観光客が訪れる、魅力溢れる地域です。

【赤崎地区の状況】

- ①人口 6,741人 ②世帯数 2,744世帯
③高齢化率 36.6% ④自治会(町内会等)数 5

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

あなたが変わればみんながかわる一人ひとりのところがけ

- お互いに声をかけて注意し合い、ごみをポイ捨てしないように一人ひとりが心がけましょう。
- 気づいた人がごみを拾ったり草刈りをして、ごみを捨てにくくしましょう。

こだわって見守る安心 安全 赤崎地区

- 空き家が多いので、近所の人で時々見回りをしましょう
- 危険な場所を見つけたら、町内の役員や市役所の担当課に連絡しましょう。

ルールを守って共に生きる 赤崎地区

- 犬の飼い主は家族と思ってきちんとしつけましょう。
- 猫を捨てたり、えさをあげないように回覧板などでお願いしましょう。

ひとはみんなのためにみんなはひとりのために

- 催しには一人ひとりができるだけ参加するように心がけましょう。
- ひとり暮らしの高齢者などには、あいさつをすることから始めて、声をかけ合いましょう。

思い思われゆずり合いみんなの力で元気アップ赤崎地区

- お年寄りのごみ出しは近所の人的一声かけて助け合いましょう。
- 班単位などで話し合っって日程を決めて、こまめに草刈り・掃除をしましょう。

(平成20年1月策定)

九十九地区

わがまち九十九

～触れあい 支えあい 安心安全のまちづくり～

1. 九十九地区の特徴

九十九地区は、佐世保市の北西部に位置し、東に佐世保市街地、西に自然美を誇る九十九島を眺望できる地域です。

約300年前、平戸松浦藩の支配制度が確立し、その末端支配地が「船越」とされ、藩財政の一助に漁民一族を派遣し、漁業基地として定住させたと伝えられています。正徳4年（1714年）には、俵ヶ浦半島の最南端の高後崎に、平戸松浦藩高後崎番所が置かれ、異国船や密貿易などの取り締まりを行っていた歴史もあります。

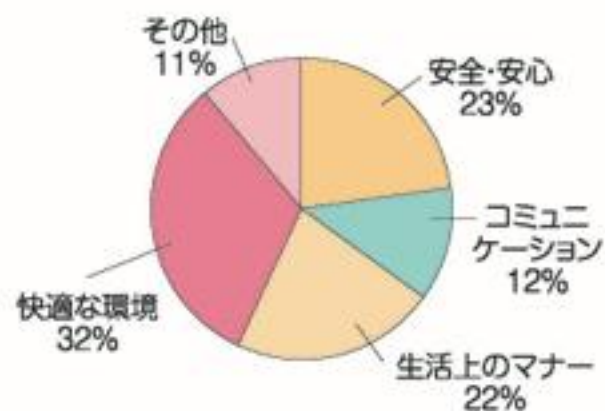
現在では、市民の憩いの場である石岳動植物園、石岳展望台からの九十九島の絶景、展海峰や花の森公園の四季折々の佇まい、白浜海水浴場・キャンプ場などが、九十九地区の貴重な財産であり、市民はもちろん大勢の観光客が訪れています。

【九十九地区の状況】

- ①人口 3,475人 ②世帯数 1,295世帯
③高齢化率 34.5% ④自治会(町内会等)数 8

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

手を取り合って広げよう安心のまち

- 地域の安全パトロールをしましょう。
- 地域で防災訓練をしましょう。
- 日頃から隣近所で声をかけ合いましょう。

声かけあって住みよいまちづくり

- 近所付き合いを良くし、声かけや見回り・訪問を行いましょ。
- 地域住民が気軽に集まれるような場所をつくりましょ。

温かい思いやりで築こう福祉のまち

- お互いが健康に気をつけるように呼びかけ合いましょ。
- 隣近所の付き合いを密にしましょ。

温かい心が織りなす住みよいまち

- 一人ひとりが気がけてごみを拾ったり、町内全体でごみ拾いをしましょ。
- ごみは各家庭で分別して、人に迷惑をかけないよう責任をもって出しましょ。

(平成20年12月策定)

中里皆瀬地区 みんなで目指そう明るいまち中里皆瀬

～未来の子どもたちのために～

1. 中里皆瀬地区の特徴

中里皆瀬地区は、将冠岳の北西側の裾野と、相浦川の両岸およびその支流の小川内川の両岸の山間部に広がっています。昭和17年の合併により佐世保市の一部となるまでは、北松浦郡に属していました。地区の中心部を流れ、柚木地区の郷美谷池に源を発する相浦川は、郷土誌によれば、かつては鮎が飛び跳ね、鰻をはじめ多くの川魚が生息していたそうです。しかし、同地区は産炭地であったため、戦後の産炭振興による洗炭の影響で河川の汚濁が長く続きましたが、現在では、サギ、オシドリなどが飛来するまでになりました。

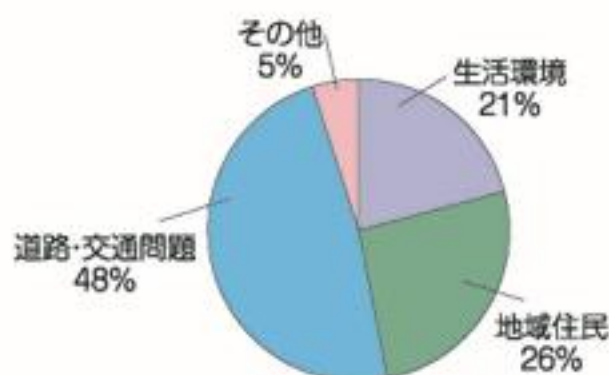
交通の面では、道路の整備が飛躍的に進み、妙観寺トンネルの開通によって県北方面へのアクセスが容易になりました。

【中里皆瀬地区の状況】

- ①人口 11,763人 ②世帯数 4,518世帯
③高齢化率 26.0% ④自治会(町内会等)数 27

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

ごみのない美しいまちづくり

- 犬の散歩時はふんの始末をするようお互いに注意しあいましょう。
- 空き缶など見つけたら拾うよう心がけましょう。
- 一人ひとりがごみをきちんと分別するよう心がけましょう。

声かけあって安心・安全のまちづくり

- 地域の高齢者をみんなで見守るようにしましょう。
- あいさつなど努めて声をかけるようにし、行事への参加を呼びかけましょう。

みんなでルールを守って事故のないまちづくり

- PTAや町内会などみんなで通学路などを積極的にチェックしてみましょう。
- 夜道では懐中電灯をもって行動しましょう。
- 通学道路、横断歩道での誘導・監視をしましょう。

(平成20年12月策定)

大野地区

ひとよし まちよし 明るい大野

1. 大野地区の特徴

大野地区は、佐世保市の北部に位置し、相浦川の中流沿いに広がる、南北を山に囲まれ美しい景観に恵まれた自然豊かな地域です。

先史時代から人が暮らしていた跡が今も残り、泉福寺洞穴・岩下洞穴は今から1万年以上前の人々の居住跡で、多くの遺物が出土しています。

戦後は、ベッドタウンとなり多くの住宅が建ちました。教育施設も充実し、小学校から高校まで歩いて通学できる学園地区となっています。

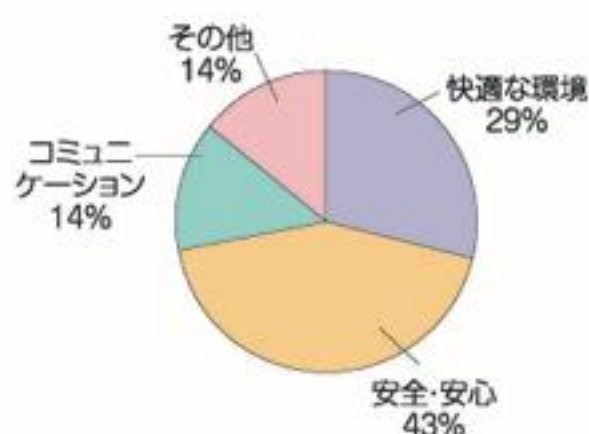
近年は、東部の矢峰・松原地区の発展が目ざましく、大きな団地や高層アパートが林立したほか、大型の商業施設も立ち並び、多くの買い物客で賑わっています。

【大野地区の状況】

- ①人口 19,029人 ②世帯数 7,859世帯
③高齢化率 27.8% ④自治会(町内会等)数 28

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

わたしとあなたの思いやりがつくる快適な環境

- 犬を飼っている人は必ずマナーを守りましょう。
- 一人ひとりがポイ捨てをせず、持ち帰るなどマナー向上を心がけましょう。
- 川をきれいにするために洗剤などの流し方に気をつけましょう。

わたしとあなたの気配りで安全・安心なまちづくり

- 近くに出かけるときは、できるだけ歩いたりバスなどの公共交通機関を利用しましょう。
- ドライバーはお互いに譲り合う気持ちを持ち、安全運転を心がけましょう。
- 地域でのパトロールを考えてみましょう。

私たちのまちに関心を持ち多くのコミュニケーションを持とう

- 地域の行事に積極的に参加しましょう。
- 町民が関心を持ち、役員に協力しましょう。
- 一人ひとりが進んで声かけやあいさつをしましょう。

(平成20年12月策定)

柚木地区

よかまち よかところ よかゆのき

～ゆう大で、美しい自然を子や孫に

のこしていつまでも きれいな柚木でありたい～

1. 柚木地区の特徴

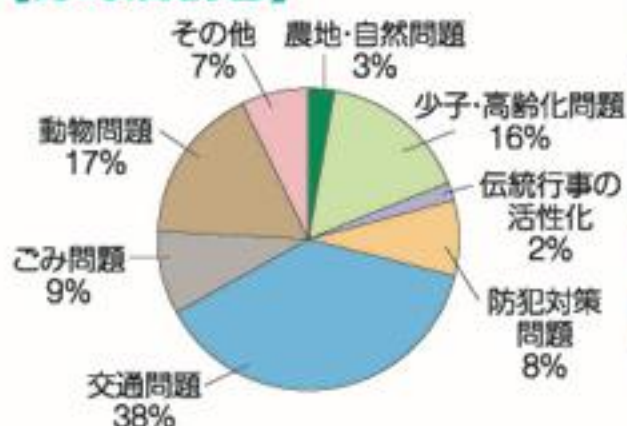
柚木地区は佐世保市の北東部に位置し、東は国見山・八天岳を境として佐賀県と隣接しており、相当・川谷・転石の3つの水源地は佐世保市の水資源をまかなっています。清流を活かした良質米の産地で、野菜・花木・肉用牛等の生産も盛んです。特に地域の特性を活かしたトマト・メロン・カーネーションの温室栽培は有名です。また、国道498号線から少し入り込んだ所には、戦国時代からの歴史がある藤山神社があり、その境内には県の天然記念物に指定してある周囲1.5m、立上り12m、長さ30mの大ヤマフジの巨木が立っています。豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、この地区の人々は人情豊かでいきいきと生活しています。

【柚木地区の状況】

- ①人口 4,392人 ②世帯数 1,582世帯
③高齢化率 30.9% ④自治会(町内会等)数 26

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

地域の資源を有効活用しよう！自然を子どもの遊び場にしよう！

○公園に限定せず、豊かな自然(山や川)の中で自由に遊びましょう。

柚木に若者を増やそう！高齢者にやさしいまちにしよう！

- 若者が集う場を設定し、その中で農業体験を通して生産の喜びを知ってもらいましょう。
○地域の公民館や空き家を使って高齢者の集まる場所(いきいきサロン)を開設しましょう。

行事・伝統を生かそう！

○類似した行事は統合し、アイデアを出し合いながら魅力あるものにしましょう。

子どもの安全を守ろう！防犯の意識啓発を図ろう！

- 地域住民とPTAが協力して登下校時の見守りをしましょう。
○人通りが少なく暗い道はなるべく一人で歩かないようにしましょう。

交通マナーを守り、安心安全なまちにしよう！

○運転者の自覚を促し、騒音を防止するためにパトロールをしましょう。

みんながルールを守りきれいな町にしよう！

○不法投棄を無くすため定期的な見回りをしましょう。

生ごみの処理を徹底させ動物被害をなくそう！

○定期的に地域で掃除をし、イノシシや野生動物のえさをなくしましょう。

(平成19年3月策定)

相浦地区

安全安心、老いも若きも
みんなで支えるまちづくり

1. 相浦地区の特徴

～よかところ・わがまち相浦地区～

相浦地区は、佐世保市の西部に位置し、平安時代の半ば頃に武辺胤明が開拓したと伝えられています。戦国時代から幕末にかけて開拓が進み、川下新田や真申新田、大潟新田などができました。

近代においては、相浦港が石炭積出港などとして大いに発展し、戦前戦後には、相浦発電所の建設、棚方の日産炭鉱の開鉱などにより、相浦商店街も大いに賑わいました。

炭鉱閉山後は、長崎県立大学などの学校や総合グラウンドが建設されたほか、佐世保中心街のベッドタウンとして住宅建設が進んでいます。

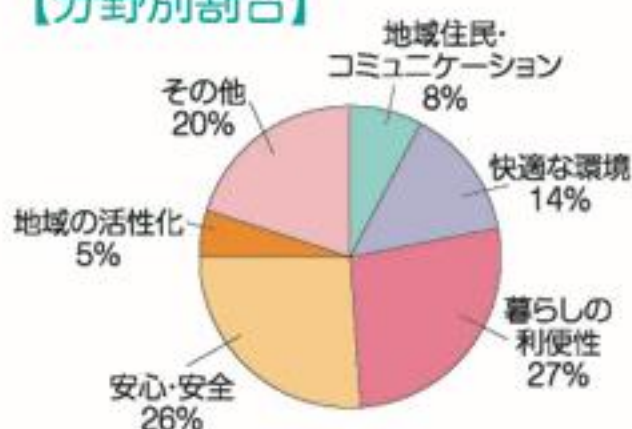
現在では、佐世保市の文教地区となっており、また恵まれた自然を活かしたまちづくりが進められています。

【相浦地区の状況】

- ①人口 29,467人 ②世帯数 12,235世帯
③高齢化率 19.4% ④自治会(町内会等)数 44

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

老いも若きも心は一つみんなで声かけ、楽しいまちに!!

- 町内でネットワークをつくって声かけや目配りを行いましょう。
- スポーツなど住民が交流・親睦できる機会を設けましょう。

ごみのない美しく、明るいまちに!!

- 各自がルール・マナーを守りましょう。
- ごみなどを捨てている人を見かけたら注意しましょう。

子どもから高齢者まで交流を深めるまちづくり

- 公共交通機関を積極的に利用しましょう。
- できるだけ近所の店を利用しましょう。

安全かつ安心して暮らせるよう支え合うまちづくり

- 交通ルールを守るように徹底しましょう。
- 不審者を見たら周りの人に知らせましょう。

老若男女が集まるまちづくり

- 人が集まるイベントを地域と一体となって考えましょう。
- 各イベントを公民館まつり、地域おこしと連携させましょう。

(平成20年12月策定)

黒島地区

みんなで育てよう助け合う心

～ひとりはおみんなのために みんなはひとりのために～

1. 黒島地区の特徴

黒島地区は、相浦港から西方約13kmの海上に位置し、周囲約13km、南北3.4km、東西6km、面積約5.4km²の規模を有し、208の島々からなる九十九島の中で最も大きな島です。

カトリック信仰の島として知られ、島の人口の約70%が信徒です。交通は、1日に3便の船が相浦と黒島間を約50分をつないでおり、不定期貨物船も運航しています。

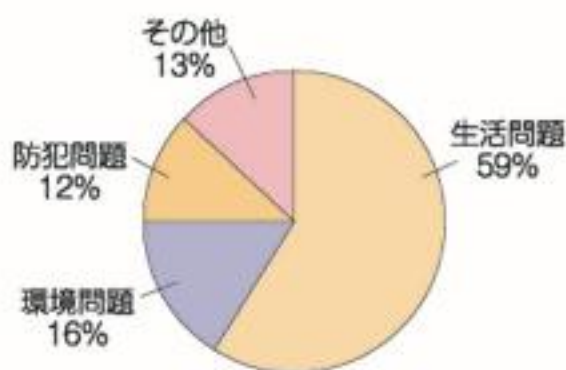
現在も豊かな自然が残っており、黒島神社では縄文時代の森の様子を、串ノ浜岩脈では地殻変動の跡を見ることができます。気候も暖かく、亜熱帯地域の植物であるアコウの巨木が見られ、また、根谷にあるサザンカの大木は、佐世保市の天然記念物に指定されています。他にも国の重要文化財である黒島天主堂など多くの名所旧跡があり、観光客の来島も年々増加しています。

【黒島地区の状況】

- ①人口 474人 ②世帯数 252世帯
③高齢化率 57.2% ④自治会(町内会等)数 8

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

思いやりの心育つわがまち

- お互いに声をかけ合ったり、家を訪問しましょう。
- 各地区の集会などを密にして協力を呼びかけましょう。
- いきいきサロンを充実させて継続しましょう。

ルールを守ろうきれいな心

- 生ごみはきちんと処理しましょう。
- 自分のごみは持ち帰るかきちんとごみ箱に捨てましょう。
- ごみに気づいたら拾い(すくい)ましょう。

安全・安心をみんなの心で

- 道路は気をつけて歩き、周りをよく見てわたりましょう。
- 車でカーブを通る時は、人がいないかよく確かめましょう。
- 毎年少しずつでも街灯を増やしていきましょう。

(平成20年3月策定)

吉井地区

みんなで支えて みんなが笑顔

～思いやり・心ゆたかな吉井町～

1. 吉井地区の特徴

吉井地区は、佐世保市の北部に位置し、北は松浦市、西は江迎町と佐々町、東は世知原地区と隣接しており、国見岳を源にする県内最長河川の佐々川は、吉井地区を流れて佐々町の海に注いでいます。

交通の面では、松浦鉄道が西部を走り、それに沿って通る国道には、中央部の2ヶ所に松浦市と世知原地区へ通じる県道との分岐点があります。旧市内とは数本の国・県・市道で結ばれ、妙観寺トンネルの開通以来、車の往来が頻繁になっています。

土地は肥沃で、農業に適しており、いちご・メロン・いちごワインの産地としても有名です。

2万年前の旧石器時代にできたと言われる福井洞窟をはじめ、直谷城跡、コウモリ岩洞穴、春日神社の古式お蔵入れなどの遺跡もあります。また、名勝地・御橋観音には、自然にできた石橋や天然記念物も混じった多種類のシダも群生しています。

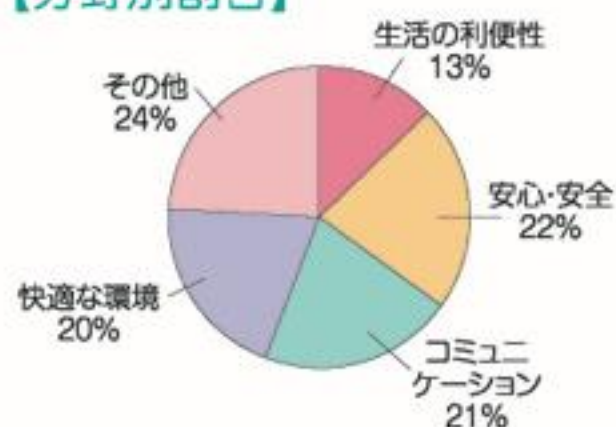
佐世保市との合併前は、花はひまわり、鳥はウグイス、木はしいの木が町のシンボルでした。

【吉井地区の状況】

- ①人口 5,610人 ②世帯数 2,020世帯
- ③高齢化率 26.9% ④自治会(町内会等)数 26

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

思いやりと親切の輪を広げよう

- 隣近所で助け合いましょう。
- 遊び場の活用を考えましょう。

みんなの力でどこでも安心

- 夜間の歩行時には夜光性のものを身につけましょう。
- 運転者・歩行者ともにルールを守りましょう。
- 電話をしたらすぐに駆けつけてくれる人を近所につくりましょう。

声かけてみんなで作ろう近所の和

- 地域の人ができる範囲で助け合いましょう。
- 子どもが主体となる子ども会活動にしていきましょう。

未来へつなごう山や川 歴史ゆたかなまちづくり

- 一人ひとりがマナーの向上を図りましょう。
- 生活排水の流し方を工夫しましょう。(考えましょう) (平成21年3月策定)

世知原地区

すきです せちばる

～未来に残そう美しい自然と人の交わり～

1. 世知原地区の特徴

世知原地区は、佐世保市の北部に位置し、標高777mの国見山を東に望み、県内最長である佐々川の源流地帯にあり、緑豊かで自然にあふれた地域です。平成17年に佐世保市と合併しました。

明治20年代から昭和45年までは石炭産業が盛んで、石炭の輸送のために開通し佐々まで運行していた汽車は、佐世保の街の人たちも山を越えて見物に来ていたと言われていました。

産業は、農業(茶業・畜産等)が主体で、世知原米は味が良いと定評があり、また、世知原茶の名声も高く、毎年農水大臣賞に入賞するお茶もあります。

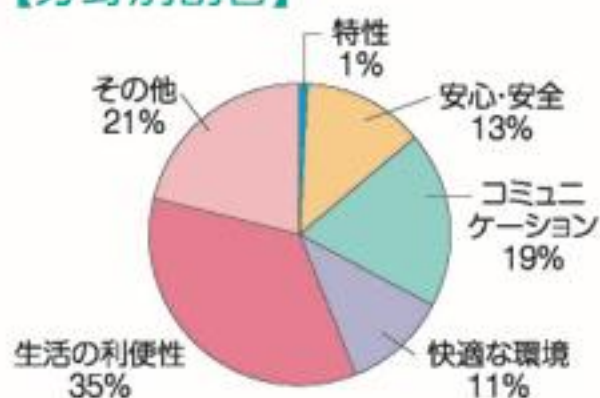
また、毎年開催される「世知原ロードレース」や「じげもん市」などの大イベントには、多くの参加者や来客で賑わいます。

【世知原地区の状況】

- ①人口 3,571人 ②世帯数 1,301世帯
③高齢化率 37.2% ④自治会(町内会等)数 24

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

世知原茶を飲んで元気になろう

- 急須でお茶を入れましょう。
- 子どもなどに生産の体験をさせましょう。

誰もが、安心して暮らせる町づくりを目指そう

- 地域が一体となって、登下校時の見守りを強化しましょう。
- 歩行者も運転者も交通ルールを守りましょう。

自分から進んで元気に笑顔であいさつをしよう

- 隣近所やボランティアによる見守り・声かけ・安否確認をしましょう。
- 地域ごとにお互いに支え合うことを一人ひとりが自覚しましょう。

すばらしい自然をみんなで守っていこう

- ごみを捨てないように徹底しましょう。
- のら犬、猫にエサをあげないように呼びかけましょう。

みんなの力で住みよい世知原をつくろう

- 運転者は他に迷惑をかけるような路上駐車はしないように心がけましょう。
 - できるだけ町内で買い物をするようにしましょう。
- (平成21年3月策定)

小佐々地区

みんながかがやくまち小佐々

～海よし・山よし・人もよし～

1. 小佐々地区の特徴

小佐々地区は、日本本土最西端に位置する「海光るまち」として知られ、東は佐々町、北は鹿町町と隣接し、南及び西は平戸海峡に面しており、農業・漁業などの振興を核に、景勝地「冷水岳」や「日本本土最西端の地」などの観光資源を活かしたまちづくりが進められてきました。

昭和55年に「小佐々町公民館」、昭和59年に「小佐々町高齢者コミュニティセンター」が生涯学習や福祉活動の拠点として開設されたことにより、福祉団体の組織化や活動強化が図られ、食事サービスボランティアなどの様々な福祉・ボランティア活動が展開されてきました。

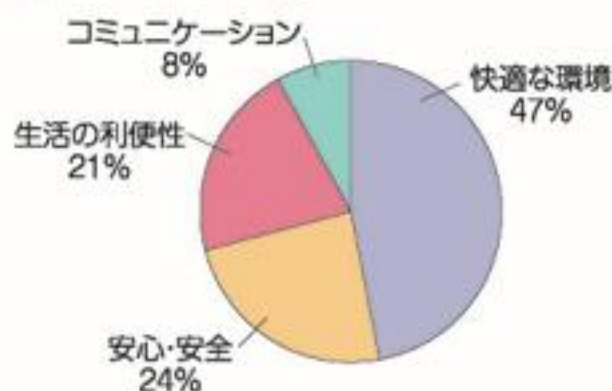
佐世保市となった現在でも、市内のボランティア団体やNPOとの結びつきを強め、住みよい地域づくりのために地域住民や団体が連携して活動しています。

【小佐々地区の状況】

- ①人口 6,381人 ②世帯数 2,295世帯
③高齢化率 27.6% ④自治会(町内会等)数 14

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

地域で作ろう、安全安心な小佐々

- 夜は懐中電灯を持って歩きましょう。
- 不審者などの情報は早めに流しましょう。
- 事故が多い場所では一人ひとりが注意しましょう。

活力と思いやりのある小佐々

- 若者や高齢者がふれあう機会を増やしましょう。
- 近所の人気がけて見守り、声をかけましょう。
- 大人が率先してあいさつしましょう。

地域で支え合うみんなのまち小佐々

- 隣近所で買い物を手伝ってあげましょう。
- 公民館などを積極的に活用しましょう。

住みよいまち・人と人が支え合うわがまち小佐々

- 危ない場所へは一人で行かないようにしましょう。
- 個人のマナー向上を図りましょう。

(平成21年1月策定)

宇久地区

みんなが主役のまちづくり

～自然美と人情味あふれた 宇久宝島～

1. 宇久地区の特徴

宇久地区は、佐世保港から高速船で1時間20分、フェリーで2時間30分かかる西方海上60kmに位置し、東西8km、南北7kmのほぼ円形で、周囲は47.4km、面積は26.4km²の島です。海上から眺めるとすそ野が広く、五島富士と称される標高258mの城ヶ岳を中心とする美しい島の姿は、ヨットに乗る人々の間でも絶賛されています。

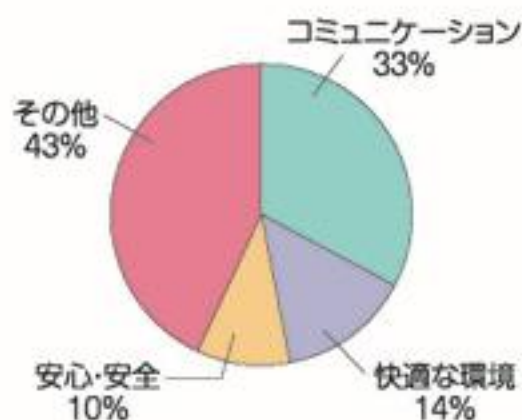
東海岸に広がる島で最大の砂浜海岸「大浜」は、白い砂浜と蒼い海が広がる「日本の快水浴場百選」に選ばれた一級の海水浴場です。西海岸には、雄大な草原や地形をそのまま利用した天然のゴルフ場である「平原ゴルフ場」があります。城ヶ岳の山頂からは360度の大パノラマが広がり、南は小値賀諸島の全景から五島列島の最南端まで、東は平戸諸島、生月、的山大島を見渡すことができます。

【宇久地区の状況】

- ①人口 2,332人 ②世帯数 1,301世帯
③高齢化率 48.8% ④自治会(町内会等)数 26

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

ともに支え合う 心豊かな宇久宝島

- 今の子どもたちを大切にしましょう。
- 近所づきあいを大事にして、お互いに一日一回は声をかけ合しましょう。
- 学校や地域の行事にはできるだけ参加しましょう。

豊かな美しい自然 みんなでつくろう宇久宝島

- 住民一人ひとりが美化意識を高め、ルールを守るよう呼びかけましょう。
- ペットを連れて行く時は必ず袋を持って行くなど、飼い主が責任を持ちましょう。
- 目についたごみを拾うようポスターなどで呼びかけましょう。

ルールとマナーを守る 安心安全の宇久宝島

- 住民一人ひとりに交通ルールを守るよう呼びかけましょう。
- 地区と学校が一体となって子どもの安全を守りましょう。
- 子どもと大人で危険箇所の確認を定期的に行いましょう。

(平成21年3月策定)

江迎地区

“自慢”がいっぱい江迎町

～感動と笑顔にあえる町～

1. 江迎地区の特徴

江迎地区は、長崎県本土地域の最北部、北松浦半島中心部を町域とし、佐世保市の中心市街地から北西へ約20kmの場所に位置しています。江迎川が東から西へ横断しており、北西部は半島に切り込んだ江迎湾に接し、北部と南部には丘陵地が広がっています。

江迎は古くから交通の要衝であり、江戸時代には平戸藩の本陣が置かれ、平戸往還の宿場町として栄えました。また、北松浦半島では半島内の各地域で石炭が産出され、北松炭田として栄えました。そのためかつては町内にも数カ所に炭鉱がありましたが、1960年代にすべてを閉山し、現在は農業が中心です。

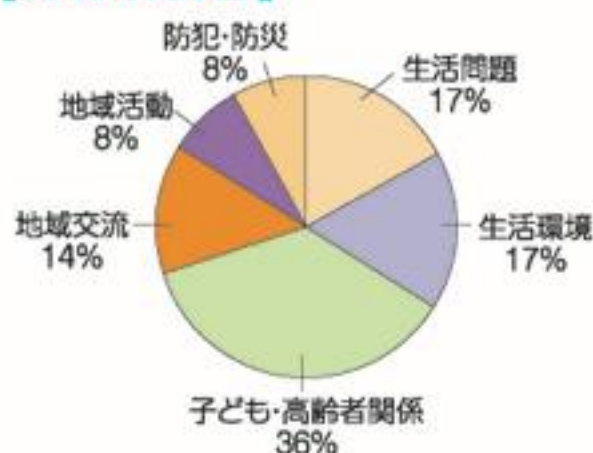
町おこしの一環として始められた「繭玉(ちりめん細工の飾り玉)」は、今や江迎地区を代表する手工芸品の一つとなっており、毎年春には「肥前えむかえ繭玉まつり」が開催されています。

【江迎地区の状況】

- ①人口 5,466人 ②世帯数 2,059世帯
③高齢化率 31.3% ④自治会(町内会等)数 30

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

生活しやすい環境づくり

- 地区内の商店の買い物マップを作成し、各世帯へ配布・周知しましょう。
- わが町の自然の“よかところ”探しなど、環境学習を行いましょう。

人と人とのネットワークづくり

- 学校や家庭などで、あいさつの大切さなどについて学ぶことを推進しましょう。
- 講演会などの開催により、見守りネットワークの推進及び強化を図りましょう。

みんなが集まる場所づくり

- 各団体の協力を得て、子どもから高齢者まで参加できるイベントを企画しましょう。
- 各団体の協力を得て、親子での公園遊びや子ども達の居場所づくりを推進しましょう。

安全で安心な町づくり

- 広報誌などを活用して危険箇所の周知を行い、子どもや高齢者の外出時の安全面の強化に努めましょう。

(平成25年3月策定)

鹿町地区

笑顔あふれる ふるさと鹿町

1. 鹿町地区の特徴

鹿町地区は、長崎県本土地域の最北部、北松浦半島の北西部を町域とし、佐世保市の中心市街地から北西へ約20kmの場所に位置しており、町域の南西部から北部にかけては海に面しています。

沖合には北九十九島と呼ばれる多数の島が点在し、北部は半島に切り込んだ湾(江迎湾)に接しています。北松浦半島では半島内の各地域で石炭が産出され、北松炭田として栄えました。そのためかつては町内にも数カ所に炭鉱がありましたが、1960年代に全て閉山し、現在は、漁業と農業が中心となっています。

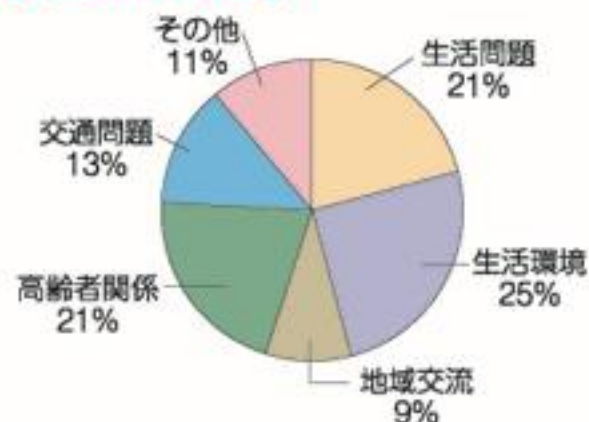
西海国立公園長串山には、平戸つつじや久留米つつじを中心に約10万本のつつじが植えられ、例年4月中旬から5月中旬にかけて鮮やかなつつじの開花を見ることができます。

【鹿町地区の状況】

- ①人口 4,811人 ②世帯数 1,832世帯
③高齢化率 33.4% ④自治会(町内会等)数 16

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み (一部のみ掲載)

生活しやすい環境づくり

- 関係団体の協力を得て、町内の商店における配達サービスなどの実態を把握しましょう。
- 広報紙などを活用し、ごみを持ち帰るなど環境問題に関する意識づくりを行いましょう。

人と人とのネットワークづくり

- 民生委員・児童委員などの協力を得て、食事会やサロン活動などの開設や継続に努めましょう。
- 民生委員・児童委員をはじめ各種相談員及び相談所のPRや広報啓発に努めましょう。

みんなが集まる場所づくり

- 家庭、学校、地域において、あいさつ運動を推進しましょう。
- 学校、各団体の協力を得て、ニューススポーツなどの世代を超えた交流の場づくりに努めましょう。

安全で安心な町づくり

- 学校、PTA、老人会などの協力を得て、昔遊びや自然の中での体験学習などの企画や場の提供に努めましょう。

(平成25年3月策定)

